

2023年 6月 30日

長野県知事 阿部 守一 様

## 令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

|                             |                           |                            |
|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 協定期間                        | 令和3年度から 令和5年度             |                            |
| 会社名                         | 波田土建株式会社                  |                            |
| 住所                          | 〒390-1401<br>長野県松本市波田6176 |                            |
| 代表者名                        | 代表取締役 大月 照夫               |                            |
| 業種                          | 製造業 ・ 建設業                 |                            |
| 処理施設<br>所在地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名                       | 所在地                        |
|                             | 中間処理場                     | 長野県松本市波田6180-71.14         |
| 担当部署                        | 土木部                       |                            |
| 担当者名                        | 波多腰 桂                     |                            |
| 連絡先                         | TEL                       | 0263-92-4787               |
|                             | FAX                       | 0263-92-3450               |
|                             | 電子メールアドレス                 | hatadoken@themis.ocn.ne.jp |
| ホームページアドレス                  | http://www.               |                            |

## 1 産業廃棄物3R実践方針

産業廃棄物の発生抑制を、現場ごとに施工計画の段階で現場の状態、工事目的を把握し、掘削や取り壊しが最小限になる様、施工方法を検討し産業廃棄物の目的排出量を設定する。

産業廃棄物の排出状況や処理状況については、現場ごとに掲示板を設置し、状況公表し住民の皆さんの信頼確保に努める。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                     | 5年度目標値       | 4年度実績値       | 3年度実績値       | 2年度実績値       |
|-------------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 総排出量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> )   | 2000.0       | 3954.96      | 2203.02      | 1287.1       |
| リサイクル量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> ) | 2000.0       | 1939.35      | 2067.32      | 1116.25      |
| 売上高の推移<br>(円)                       | 350,000,000. | 344,046,000. | 369,331,000. | 151,556,000. |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・ 施工現場を事前調査する中で、設計図書以外にもリサイクル製品を使用できるかを検討し提案する。
- ・ コンクリート 2 次製品及び木製型枠等を転用できる資材として、転用率の向上を図り廃棄物の抑制に努める。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・ 産業廃棄物処理責任者等
- ・ 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・ 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・ 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・ 従業員教育（研修）計画
- ・ リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・ 処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・ 不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・ 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・ 独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値 | 過年度実績値 |        |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|
|          | 5年度目標値 | 4年度実績値 | 3年度実績値 | 2年度実績値 |
| 再生砕石40-0 | 90     | 73.4   | 30.1   | 37.0   |
|          |        |        |        |        |
|          |        |        |        |        |
|          |        |        |        |        |
| 全体       |        |        |        |        |

